

陸別町PRショートムービー りくべつ夏

を制作しました。

2016年の夏、日本一寒い陸別町の「夏」をPRするショートムービー「りくべつ夏」を制作しました。

冬の平均気温はマイナス20度以下。日によってはマイナス30度にもなる陸別町は、冬になれば「しばれフェスティバル」の開催もあってテレビ番組などでもたびたび取り上げられています。そんな陸別町の「夏」の良さもPRすべく作成されたショートムービーが「りくべつ夏」です。アイドルながら書評家としても注目を集める西田藍さんが出演、映画監督の大道省一さん、作曲家のゲイリー芦屋さんが制作を手がけました。映画を作る手法にこだわって、すてきな作品になりました。ぜひご覧ください。

キャスト 西田 藍 (にしだ あい)



1991年生まれ。講談社主催のアイドルオーディション「ミスiD2013」で準グランプリを受賞し、アイドルとしてデビュー。『SFマガジン』に連載を持ち、新聞や文芸誌で書評家としても活躍。NHK Eテレの「ニッポン

ン戦後サブカルチャー史」シリーズに出演。現在SFマガジンで「にゅうもん！西田藍の海外SF再入門」連載中、また、週刊新潮の書評を担当。

コメント

はじめての北海道、はじめての陸別。はじめてづくしの旅は、全てが新鮮でした。空も大地も夜も、私の故郷とは全く違う色。北国の夏は爽やかに暑く、いつも気持ちのよい風と一緒でした。町の方々の笑顔のお陰で、私はありのままの私として自然体でもっとも素敵な二人旅」を楽しむことができたのです。主役は陸別町。言葉では伝えきれない、ありのままの陸別の魅力を、お伝えできていたら幸いです。

キャスト しばれ君・つららちゃん



監督 大道省一 (おみち しょういち)



1980年生まれ。東京造形大学卒業後、CM制作会社パラダイス・カフェの企画演出部を経てフリーに。『花咲け！みゃーこ』『本当にあった怖い話』『妻夫木聡が悪人だったあの2ヶ月』などを演出し、キャンソ、ベネッセ、東芝などのCMやVPを手がける。また、映画のメイキングディレクターとして『私は貝になりたい』『悪人』怒

音楽 ゲイリー芦屋 (げいりー あしや)



1966年東京生まれ。3歳より音楽の専門教育を受け、学生時代に知り合った人脈をきっかけに職業作曲家として活動を開始。94年の佐々木浩久監督作品『情熱の荒野』で映画音楽作曲家としてデビュー、現在までに映画・ドラマなど50

「しばれ君」は、ロシアのアムール川から流氷に乗って来た少年。「つららちゃん」は「しばれ君」の恋人。カナダから地球温暖化の危機に警鐘をならすため、オーロラに乗ってきた妖精。「日本一寒い町」陸別町のゆるキャラです。二人とも、陸別町で行われるイベントのお手伝いや町のPR活動で活躍中です。

「り」に参加。『Beyond the ONEDAY Story of 2PM & 2AM』(12年)で劇場用映画の監督としてデビュー。東宝映像事業部配給で全国公開された。

制作コメント

1泊2日のストーリーですが、実際は3泊4日陸別に滞在してじっくり撮影を行いました。ロケハンで初めて訪れたときの緑と青空の美しさが忘れられず、あまり細工をすることなくありのままにカメラを向けました。そして西田藍さんとスタッフ一同、陸別の夏を満喫。画面に映るところから映らないところまで町のみさんの多大な協力によって完成した映像です。「りくべつ夏」ぜひ多くの方に観ていただければと思います。

作を超える劇伴を手がける。

制作コメント

いつも映像に音楽をあてる時は、曲想を考えたり、曲のタイミングを合わせたりのために何度も何度も繰り返し映像を見るわけです。今回も陸別の映像を果てしなくループしながらの作曲の日々でしたが、何度も見返してのうちにすっきり美しい自然や街の風景に引き込まれ、ちよっとした旅行気分、癒しのエネルギーをたくさんもらったような気がします。いくつか実際に陸別を訪れてこの音楽の続きを五線譜に書き加えてみたいくなりました。



- プロデューサー 川村大輔
- 撮影 遠藤紀彦
- 照明 村橋佳伸
- 録音 新保健次
- 監督補 楠歌昭
- ヘアメイク 廣田正興
- スタイリング 田村香織
- ドローン ホリバトシタカ
- アシスタントプロデューサー 石橋崇裕
- 編集 石橋尚也
- 音響効果 谷口恒平
- M.A.M.I.K.A. 木村俊之
- 合成 加藤勲士
- カラコレ 北馬神匡
- タイトル 村橋佳伸
- 西田藍



りくべつ夏 ロケ地MAP

夏の陸別町の素敵な場所を一人旅する西田さんを追ったショートムービー「りくべつ夏」。このマップを見ればどのシーンがどこで撮影されたか一目瞭然。自転車と徒歩で旅していた西田さんですが、実はものすごい移動距離だったりして。さあ、皆さんも「りくべつ夏」を疑似体験しに出かけましょう！



炉ばた 俺ん家
旬の魚介類を炭火焼きで美味しくいただく！イクラ丼も隠れた人気メニューです。ロケハンで訪れた監督が惚れた店内の雰囲気も最高です。西田さんはSFの話で町の方と盛り上がっていました。



パブ・スナック 未完星
せり上がるステージ！絶品のあんかけラーメン！未完星はナツカシイ雰囲気漂う店内の雰囲気も魅力です。お酒も入って、盛り上がってまいりました！



役場前



保健センター前広場
旧緑と太陽の広場。保健センターが建設された際に広さは縮小されましたが、役場のすぐ隣という事もあり、町民の憩いの場として愛されています。西田さんが中学生をスケッチしていた場所です。



ふるさと銀河線 りくべつ鉄道
道の駅オーロラタウン93りくべつ内の施設、りくべつ鉄道は、廃線となった鉄道を動態保存する事を目的に観光鉄道として誕生しました。ホンモノの車両を運転体験できる貴重な場所です。「りくべつ夏」で西田さんも実際に運転しています。



史跡 ユクエピラチャン跡
昭和62年に国指定史跡となったアイヌ文化期の遺跡です。ユクエピラはアイヌ語で鹿が食べる崖の意味。チャンとは高い場所に築かれ、壕や崖などで周囲と切り離された施設のこと。今で言えば砦跡のようなものでしょうか。撮影した夏には美しい緑と白樺のコントラストが印象的でした。ああ、みどり、みどりきみどり、またみどり。



駐車場



ふれあいの湯
保健センター内にある町の公衆浴場。いつもたくさんの方が利用されています。撮影は営業時間前に特別に開けてもらいました。りくべつ牛乳を飲む西田さん、ステキです。



自転車 2
イベントセンターがある宇遠別のT字路。手前の花はスタッフががんばって配置しました。



エンディング
天文台側から下って左がコテージ、右が町へ降りる三叉路。ドローンを使用して、柔らかな動きのある印象的な画が撮れました。さよなら、陸別。また来たいな。

銀河の森コテージ村
自然豊かな銀河の森に陸別産のからまつ材を使用したコテージが立ち並んでいます。星空の街らしくそれぞれのコテージには星座の名前がついています。朝霧の中、コテージでSFを読む西田さんですが、このシーンの撮影は早朝3時からスタート。なかなかハードでした。



銀河の森天文台
一般公開型の天文台としては日本最大級の115cm反射望遠鏡「りくり」を備えています。オーロラの観測でも有名です。素敵な星空の旅に出かけましょう。西田さんが訪れたのは昼間ですが、実は晴れていれば昼でも星を観測できるんです。



ポントマム
気持ちよさそうに歩く西田さんですが、実際ポントマムまでは町の中心地から車で30分。放牧されたたくさんの牛にも出会えます。実はこのシーン、悪天候のため延長した最終日に撮影しました。晴れてよかったです。



tomono
小利別にあるcafe&うつわのお店。tomonoカレーや日替わりデザートが人気です。でもやはり店主の坂井さんが一番の魅力かも。



自転車 1
町の中心地から小利別へ向かう途中で撮影。スーパースローで撮った西田さんの表情が印象的です。



鹿山草場
広大な牧草場が広がる鹿山。ドローンを使用して奥行きのあるシーンが撮れました。実はこの場所からクランクインしました。



オープニング
オープニングもポントマムで。最高の天気。撮影日を延長して本当に良かったです。ドローンが最も効果的に使われた名シーンになったと思います。

「りくべつ夏」は下記のQRコードもしくはURLからアクセス!!

 https://youtu.be/3fuunGA_uUw

